

障害のある学生のキャリア教育・ 就職支援の事例紹介

一般社団法人
企業アクセシビリティ・コンソーシアム（ACE）
会員企業 株式会社電通グループ 濱崎 伸洋



企業アクセシビリティ・コンソーシアム (ACE) について



ACE会員企業

38社（50音順） 2025年3月現在



株式会社 IHI

旭化成株式会社

アサヒビール株式会社

味の素株式会社

アステラス製薬株式会社

アフラック生命保険株式会社

株式会社イトーキ

EY Japan株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

KDDI 株式会社

協和キリン株式会社

株式会社JTB

シナネンホールディングス株式会社

清水建設株式会社

株式会社SBI新生銀行

積水ハウス株式会社

セコム株式会社

株式会社セールスフォース・ジャパン

損害保険ジャパン株式会社

株式会社大和証券グループ本社

中外製薬株式会社

株式会社電通グループ

TDK株式会社

TOTO株式会社

株式会社ニチレイ

日産自動車株式会社

日本アイ・ビー・エム株式会社

日本航空株式会社

日本通運株式会社

日本電信電話株式会社

パナソニックホールディングス株式会社

株式会社パレスホテル

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

ブルームバーグL.P.

株式会社みずほフィナンシャルグループ

ヤマト運輸株式会社

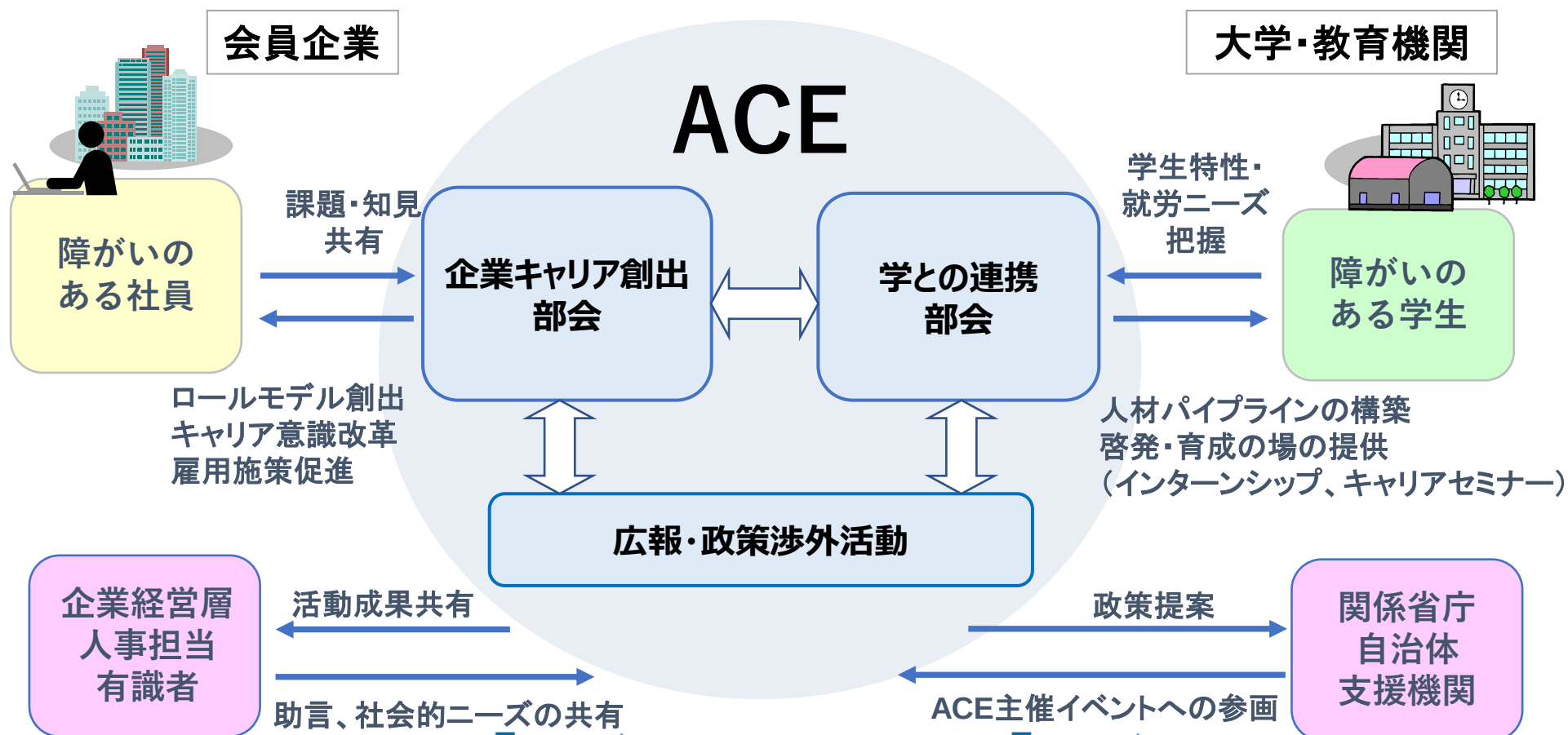
株式会社 LIXIL

株式会社りそなホールディングス



ACEの活動

障がい者雇用に関する企業現場の課題に加え、高等教育機関等における就労準備の課題にも取り組むため、2つの事業部会が連携して活動しています。



ACEの活動（全体での取り組み）

ACE全体では2カ月に1度の「定例会」、年1回の「オフサイトミーティング」にて会員各社間の交流、学び、ディスカッション等を実施しています。
また年1回の「ACE フォーラム」では、年間の活動を報告するとともに、会員各社で活躍する障害のある社員やその取り組み事例を「ACEアワード」として表彰しています。

ACE定例会



オフサイトミーティング



ACEフォーラム・アワード



ACEの活動（学との連携部会①）

「ACEオリジナルプログラム/相談会」の実施

8月から9月にかけて実施し、会員企業が「対面で実施するインターンシップ（職場体験）」から「リモートで実施する1時間程度のキャリア相談会」まで、多様なプログラムを障がいのある学生に提供します。

【昨年度の事例】

TOTO
企業訪問型
見学&先輩社員紹介



電通グループ
企業訪問型
業務体験
&先輩社員紹介



日本アイ・ビー・エム
WEB参加型
会社紹介 &
DX推進ワークショップ



Bloomberg
企業訪問型
4日間プログラム



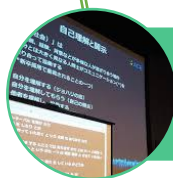
ACEの活動（学との連携部会②）

「ACEキャリアセミナー」の実施

「ACEオリジナルプログラム」に参加した学生は、プログラム終了後（9月）にオンラインの「ACEキャリアセミナー」に参加することで、さらにキャリア意識を深めます。



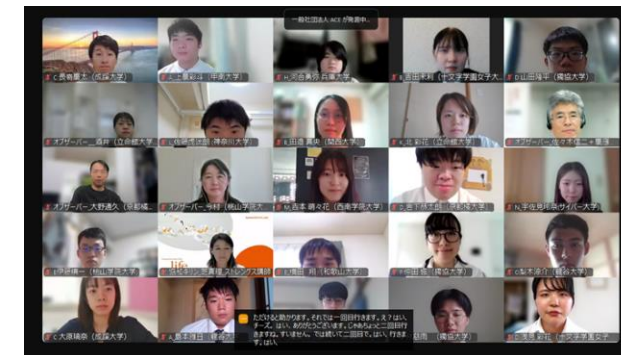
企業における就労についての講座



企業で働く障がいのある先輩社員の仕事紹介



学生・先輩社員との座談会



ACEオリジナルプログラム / ACEキャリアセミナー

参加学生の声

「自分の働く姿を具体的にイメージできた」

「ロールモデルとなる先輩社員に出会えた」

「就活までに準備しておくべきことがわかった」

「他の学生の話聞いて、不安なのは自分だけでないことがわかった」

25年度の実施は以下となります（各大学ご担当者にご案内済）

① キャリアセミナー 9/5（金）

② オリジナルプログラム/相談会 8/1（金）～9/8（月）

エントリー
締切
6/27（金）

ひとりでも多くの学生の参加をお待ちしています！

ACEの活動（学との連携部会③）

「AHEAD JAPAN CONFERENCE」

「PHED情報交換会」

- AHEAD JAPAN（全国高等教育障害学生支援協議会）に、ACEは賛助会員として登録。
全国大会ではブースにてポスター展示、冊子配布等を行い、多くの大学の担当者様と情報交換を行っています。
- PHED（障害と高等教育に関するプラットフォーム）にも、情報交換会等に参加。企業の障害者雇用の現状について発表と質疑応答を行ったり、大学・関係機関の担当者様と情報交換を行っています。



ACEの活動（学との連携部会④）

文部科学省

「障害のある学生の修学支援に関する検討会」

■ 障害者差別解消法改正にともない、すべての大学等での合理的配慮の義務化が求められることに際して、大学等の取り組みの在り方を示すための有識者による検討会に、ACEも委員として出席。

■ ACEにおける障害学生の就職に関する取り組み、企業側の立場から大学における障害学生支援に期待すること等の発表と質疑応答を行いました。

障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第三次まとめ）概要

- ◆ 近年の障害学生の増加や、令和6年4月の改正障害者差別解消法の施行により、私立学校を含む全ての大学等において障害学生に対する合理的配慮の提供が法的義務として求められることなど、障害のある学生への修学支援体制の整備が急務
- ◆ こうした状況を踏まえ、「障害のある学生の修学支援に関する検討会」を開催。令和6年3月に「第三次まとめ」を取りまとめ
(文部科学省HP: https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/rousou/123/index.html)

障害学生支援に関する基本的な考え方

1. 大学等における障害学生支援の在り方
 - ◆ 大学等は、自らの価値を高め、学生に対する責務を果たすため、事前的改善措置により教育環境の整備を図るとともに、障害学生支援を、障害のある学生が他の学生と平等に学ぶことができる権利を保障するための手段であるという認識の下で、着実に実施する必要がある
 - ◆ 障害学生支援は、合理的配慮の提供に限定されるものではなく、障害の有無によらず、学内全ての学生を対象に実施している各種支援と併せて行われるもの、合理的配慮の提供以外の学内の学生支援リソースも総合的に活用しながら行うことが望ましい
2. 「障害の社会モデル」の理解に関すること
 - ◆ 社会的障壁とは、障害がある者にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものという
 - ◆ 「障害の社会モデル」の考え方に基づくと、障害のない学生を前提として構築された大学等の仕組みや構造が、障害のある学生にとって社会的障壁となっている場合がある
 - ◆ 大学等の構成員全てが「障害の社会モデル」を理解し、事前的改善措置や合理的配慮の提供により社会的障壁を除去するとともに、各種学生支援リソースも総合的に活用しながら取り組むことが必要
3. 障害者差別解消法上の大学等の義務と努力義務
 - ◆ 大学等の義務である不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供、努力義務である環境の整備について説明
4. 障害の根拠資料に関する考え方
 - ◆ 大学等は個々の状況を適切に把握するため、学生から障害の状況に関する根拠資料の提出を求めることが適当
 - ◆ 一律に「根拠資料がなければ合理的配慮を一切提供しない」といった、形式的な対応をとらないうように留意する必要がある
5. 学内の教職員向け対応要領・ガイドライン等
 - ◆ 大学等やその設置者が組織として責任の所在を明確にし、障害学生支援に取り組むためには、教職員の共通認識が不可欠。その手段として、教職員向けの対応要領・ガイドライン等を作成することが有効
6. 障害のある学生の意思表明を促す取組

障害学生支援における諸課題への考え方と具体的な対応の取組

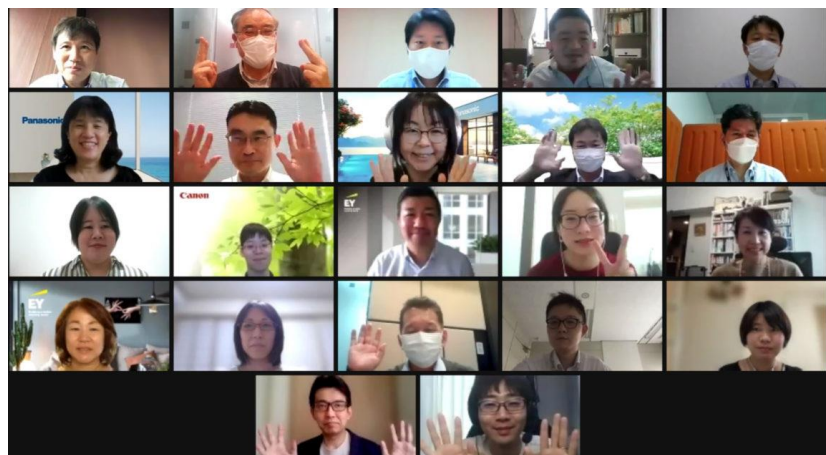
1. 学内の体制整備
 - ◆ 学内の支援体制の構築、支援人材の配置・育成、学生支援部署の連携といった取組のほか、3つのポリシーやコンプライアンスにおける留意点
 2. 合理的配慮の提供における諸課題
 - ◆ 大学等が提供する合理的配慮と本人の意向との調整や内容決定までの長期化、固定化に対する対応、大学院や通信教育課程における合理的配慮の留意事項など
 3. 紛争の防止・解決
 - ◆ 紛争の防止・解決のスキーム、入試における合理的配慮の提供に関する紛争の防止・解決
 4. オンライン学修における合理的配慮の在り方
 - ◆ オンライン学修を行う際は、授業ごとの特色を踏まえて、対面とオンライン学修を組み合わせたフレキシブルな授業も考えられる
 - ◆ 障害のある学生の個別の状況と当該授業の個別の状況を総合的に考慮して、オンライン参加の可否を個別に判断しなければならないに留意
 - ◆ 大学等の事情ではなく、本人の意思の尊重や教育の質の担保の観点から踏まえて実施する必要がある
 5. 合理的配慮とテクノロジーの活用
 - ◆ 大学等は学内にテクノロジーを活用した支援ができる体制を整備することを期待
 6. 障害のある学生の就職等の支援
 - ◆ 就職における多数の選択肢や福祉的支援等について情報を収集、効果的に情報提供
 7. 障害のある学生の災害時対策
 8. 大学等と国・地域・企業・民間団体等との連携
 - ◆ 大学等が単独で対応することが難しい場合、様々な団体・大学との取組への参加に加え、国や自治体の支援の活用や地域内の大学等との連携、企業や民間団体と連携することも有効
- #### 大学等連携プラットフォームの更なる活用
- ◆ 協力的なアプローチによって高等教育機関全体の障害学生支援を一層促進
1. 障害学生支援ネットワークの形成支援及び連携の推進
 2. 専門的知識を有する障害学生支援人材の育成
 3. 大学等や学生等からの相談への対応
 4. 全ての大学等が活用できる障害学生支援の好事例の収集・発信

ACEの活動（企業キャリア創出部会）

企業で活躍する障がいのある社員と活躍を支援する取り組み事例を発掘して共有。
人材パイプラインの継続的養成を目指します。

ワイガヤセミナーは障がい種別ごとに実施し、人事担当者のみならず、障がいのある社員同士の会社の枠を超えた交流の場となっています。

ワイガヤセミナー



ACEアワード（隔年）



企業人事担当向け勉強会



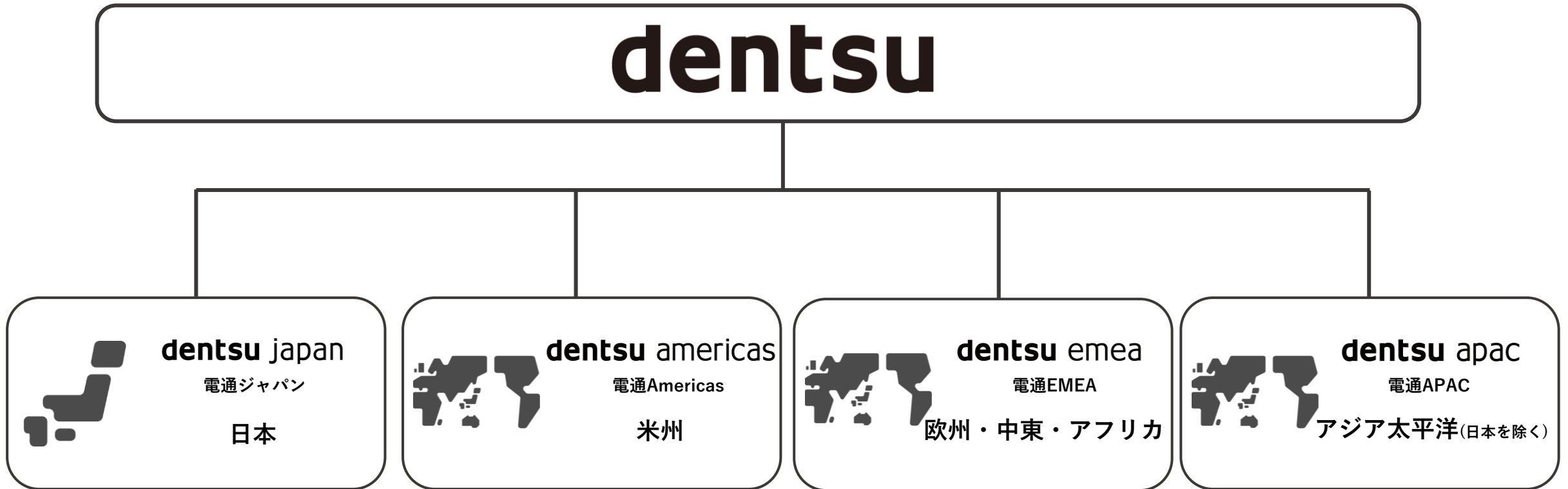
会員企業の事例紹介 ～ 株式会社電通グループ ～



電通グループの体制

電通グループは、世界約145か国・地域に広がる、約650社、約71,000名の企業集団。

「dentsu Japan」「dentsu Americas」「dentsu EMEA」「dentsu APAC」の4地域体制で事業を運営。



dentsu Japan 概要



dentsu Japanは、約150社、従業員23,000名の企業集団。顧客企業は6,000社におよぶ。

総合ビジネス・プロデュース	マーケティング・プロモーション・コンサルティング	デジタル・テクノロジー・システム・ソリューション	メディア・コンテンツ	クリエイティブ制作
電通 電通アドギア 電通沖縄 電通九州 電通西日本 電通東日本 電通北海道 電通名鉄コミュニケーションズ 電通メディカル コミュニケーションズ 電通ランウェイ アド電通大阪 ザ・ゴール	電通プロモーションプラス 電通プロモーションエグゼ 電通ライブ 電通tempo 電通PRコンサルティング ドリル 電通アイ・アンド・シー・パートナーズ 電通コンサルティング イグニション・ポイント	電通デジタル 電通総研 CARTA HOLDINGS セプテーニ・ホールディングス dentsu Innovation Studio 電通オペレーション・パートナーズ 電通クロスブレイン 電通サイエンスジャム 電通デジタルアンカー GNUS アイブロスペクト・ジャパン	IPG OOHメディア・ソリューション カラ・ジャパン dentsu X ジャパン 電通キャスティングアンドエンタテイン メント SPORTS Edge 電通ミュージック・アンド・エンタテイン メント 東京有明アリーナ	電通クリエイティブX 電通クリエイティブキューブ 電通クリエイティブフォース その他 電通コーポレートワン 電通そらり



Integrated Growth Partner

dentsu Japanは、顧客企業と社会の持続的成長にコミットするパートナーとして、

複雑化・高度化する企業課題から本質的な課題を発見し、

独自の総合型ソリューション「Integrated Growth Solutions」を提供。

Integrated = 専門性 × チーム力



障害者雇用のスキームについて

- 障害者雇用のスキームは、大きく 3 パターンあります。
 - ① 自社で雇用する。
 - a. 一般枠で雇用する
 - b. 障害者雇用枠で雇用する
 - ② 特例子会社を設立して雇用する
- 基本は①-aです。健常者と同じ制度で、同じ業務に従事します。
一般枠で採用しても、企業の合理的配慮の提供義務は変わりません。
- しかし、健常者と同じスキルセットがなかったり、特別な支援が必要な方もいます。
そのような方に、健常者とは別の制度、別の業務を用意して雇用するのが、①-bです。
- さらに手厚い支援が必要な方のために、障害者のための特別な制度、インフラ、業務等を用意できる子会社を設立して雇用するのが、②です。



福岡県障がい者雇用促進大会

A photograph showing two men in dark suits standing on a stage. The man on the left is handing a yellow certificate or document to the man on the right. Behind them are two flags: a purple flag with a stylized orange flower emblem on the left, and the Japanese national flag (Hinomaru) on the right. A microphone stand is visible between the two men.

事業成長型BPOで、
企業の挑戦を加速する。

従来のBPOサービス、従来のBPO会社から、
 2016年10月1日よりDentsu Business Partners
 事業成長型BPOのサービスを開始。Dentsuの強みと、
 豊富なBPOサービスと組み合わせ、企業様の課題を、
 BPOの強みと組み合わせ、企業様の課題を、
 解決いたします。

事業成長型BPOのサービス、Dentsu Business Partners
 事業成長型BPOのサービス、Dentsu Business Partners
 事業成長型BPOのサービス、Dentsu Business Partners



dentsu Japanの雇用事例（特例子会社）

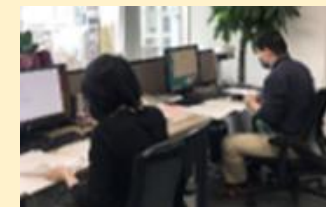
（株）電通そらり

（株）電通グループの特例子会社。知的・精神障害のある方が働く。
汐留ビル内のゴミ回収、会議室清掃、事務補助等の他、カフェや農業にも取り組む。



（株）電通総研ブライト

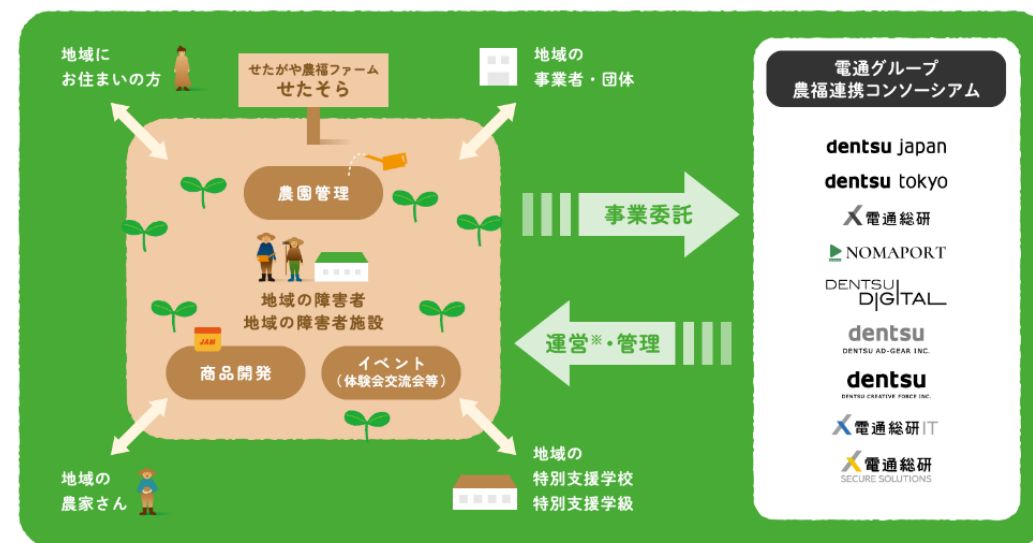
（株）電通総研は自社で主に精神障害のある方を雇用し、PC業務に従事する他、
特例子会社を通じて、知的・精神障害のある方を雇用。
品川ビル内の会議室清掃、事務補助等の他、コーヒー焙煎業務にも取り組む。



dentsu Japanの雇用事例（農福連携）

■ 電通グループ8社がコンソーシアムを組成し、東京都世田谷区より「農福連携事業」を受注。
約2500㎡の農園「せたそら」を運営し、雇用を通じた地域のインクルージョン推進に取り組む。

- ・ 2022年春にローンチ。地域の障害者を雇用し、有機農業に取り組む。
- ・ 地域の障害者施設の利用者を対象に、「就労実習」「農作業体験会」を毎月開催。
- ・ 農園で収穫した野菜の加工や軽作業を、地域の障害者施設に発注。工賃向上に貢献。
- ・ 農園で収穫した野菜を地域のお店や団体に販売し、障害理解の促進に取り組む。
- ・ 年2回の「オープンファーム」を開催。近隣住民との交流を促進する。
- ・ JA、農大、NPO等と、様々なコラボレーションに取り組む。



dentsu Japanの インクルージョン推進のための取り組み

■ DEIパーク

dentsu Japan各社のメンバーが参加し、DEIのテーマについて勉強会とディスカッションを行う。

【テーマ】

- ・ 人権／アンコンシャスバイアス
- ・ ジェンダー平等（女性／LGBTQ+）
- ・ 障害
- ・ 多文化



知る。
話し合う。
変えていく。

※毎回、当事者をスピーカーとして招き、その声に耳を傾ける。



■ ERG「ユニカフェ」

ERGは“Employee Resource Group＝従業員グループ”の略。価値観や特性を同じくする従業員の自発的なコミュニティ。ERGの活動が盛んなことが、その企業のDEI推進のバロメーターにも。dentsu Japanでも昨年、障害者のERG「ユニカフェ」が誕生。各社の当事者が定期的に交流する他、グループに向け情報発信も行っている。

最後に

～障害のある学生（と支援者）の皆さんに～

dentsu Japanに限らず、日本にはたくさんの企業があり。企業の数だけ仕事があり、仕事の数だけキャリアの可能性あります。

障害の有る無しの前に、

①自分にはどんな強みがあるのか、どんな仕事をやりたいのか、どんな人生を歩みたいかをまず考える。

次に

②そのために、どんな配慮が必要なのかを考える。

①が先で、決してその逆ではありません。

